

## 概要

Allen&Heath **DAW Control**は、互換性のあるAllen&HeathミキサーがMac OSまたはWindows上でDAWソフトウェアを制御し、一般的なHUIまたは**Mackie Control**プロトコルのエミュレートが可能です。

DAWコントロールは、これらのメッセージをMac OSまたはWindowsのバーチャルMIDIポートに表示したり、これらのメッセージを変換して基本的なコントロールサーフェスをエミュレートすることができます。

## V1.6バージョンについて

- SQミキサー用のマップが追加されました。
- dLive用のマップがMac OSバージョンに追加されました。(以前はWindowsのみ)
- MIDI ThruモードがMac OSバージョンに追加されました。(以前はWindowsのみ)
- 再接続後に接続設定を永続化して自動接続を許可します。

## サポートされているオペレーティングシステム

Windows 7, Windows 8, Windows 10.

Mac OS X 10.7 Lion, 10.8 Mountain Lion, 10.9 Mavericks, 10.10 Yosemite, 10.11 El Capitan, 10.12 Sierra, 10.13 High Sierra.

## DAW Control用にミキサーを設定する

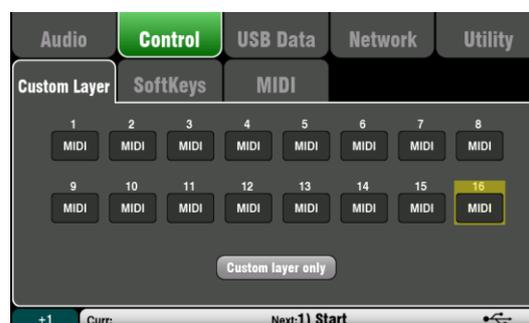
- Quミキサー (ファームウェア**V1.2以上**) - カスタムレイヤーにはMIDIストリップを挿入することができ、DAWコントロールには専用のMIDIチャンネルが用意されています。

1. **Setup / Control / Custom Layer**に移動し、必要なフェーダー・ストリップを**MIDI**に設定します。最初に選択し、スクリーン・ロータリーでスクロールします。

2. ミキサーの**Setup / Control / MIDI**画面でMIDI Channelを設定します。

QuはDAWコントロール用にMIDI Ch. **2** にデフォルト設定されています。

3. 必要に応じて、**Setup / Control / SoftKeys**のSoftKeysをMMCトランスポートコントロールに設定するか、DAW Bank Up / Downを設定します。



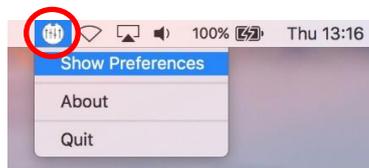
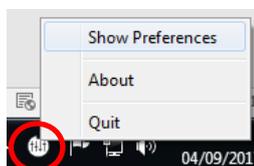
4. **GLD** (ファームウェア**V1.4以上**)、**SQ** (ファームウェア**V1.2以上**)、**dLive** (ファームウェア**V1.5以上**) - 最大32のMIDIストリップをフェーダーバンクに割り当てることができます。

① GLDとdLiveでは、各ストリップのMIDIメッセージのセットをユーザーの要件に合わせてカスタマイズできます。**DAW Control**で使用するデフォルト値のままにしておきます。どのテンプレート・ショーでも「Reset MIDI」シーンを呼び出すことで、工場出荷時のデフォルトのMIDIメッセージを復元できます。

1. **Setup / Control / Strip Assign** (GLD)、**Surface / Control / Strip Assign** (dLive) 画面、または**Setup / Surface / Strip Assign** (SQ) で、MIDIストリップを目的のバンクおよびレイヤーにドラッグアンドドロップします。
2. **Setup / Control / MIDI** 画面 (GLD)、**Utility / Control / MIDI** 画面 (dLive)、**Utility / General / MIDI** 画面 (SQ) でMIDIチャンネルを設定します。

## DAW Control ドライバーを設定する

1. [www.allen-heath.com](http://www.allen-heath.com) よりDAW Controlをダウンロードし、コンピューターにインストールします。
2. DAWコントロールを起動し、A&H DAW Controlトレイメニューの **Show Preferences** をクリックして、設定パネルにアクセスします。



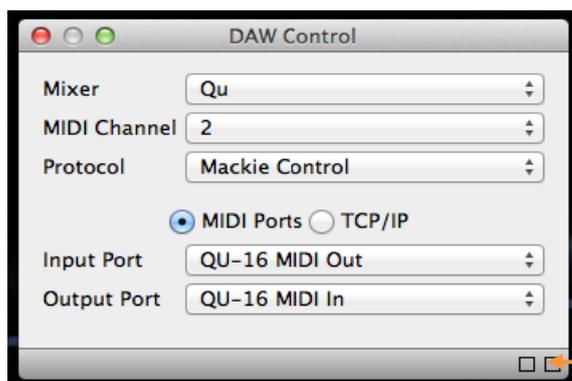
**i** DAWを開く前に、DAWコントロールドライバーを設定し、ミキサーをコンピューターに接続してください。

**Mixer** 接続先のミキサータイプを選択します。

**MIDI Channel** ミキサーの設定に合わせてMIDIチャンネルを選択します。これは通常、Qu、GLD、SQ、またはdLiveのMIDIストリップで使用されるデフォルトのMIDIチャンネルと一致するように**2**に設定されます。

**Protocol** DAWに合わせてコントロールプロトコル（HUIまたはMackie Control）を選択するか、Waves MultirackまたはQlabを使用してプログラムを変更するなど、ミキサーからのMIDIメッセージの標準セット（変換なし）で動作するように**MIDI Thru**を選択します。

**Connection** ミキサー（Qu、SQ）へのUSB接続用の **MIDI Ports**、またはCat5ネットワーク接続用の **TCP / IP**（GLD、dLive）を選択します。



MIDIポート - 使用するMIDI入力ポートと出力ポートを選択します。たとえば、**Qu-16 MIDI Out**と**Qu-16 MIDI In**を選択します。

TCP / IP - ドロップダウンボックスからミキサーを選択するか、または Custom を選択してミキサーのIPアドレスを入力し、**Connect** チェックボックスを選択します。コンピューターとミキサーが同じサブネット内の互換性のあるIPアドレスに設定されていることを確認してください。

ウィンドウの右下にある2つの四角は、MIDI I / Oアクティビティを表示します。ミキサーに接続していることを確認するには、ミキサー上のMIDIフェーダーを動かすと、左の四角が点滅します。

3. 次のページのDAW手順に従って、フェーダー、PAFL、Sel/Mix、ミュートキーをMIDIストリップからトラックレベル、ソロ、選択、ミュートに設定します。また、ミキサーから対応するDAWコントロールにMMCトランスポートコントロールを割り当てます。バンクアップ/ダウン機能がミキサーのソフトキーに割り当てられている場合、フェーダーバンクナビゲーションもDAWで有効になります。

HUIまたはMackie Controlサーフェスをサポートしている限り、他のDAWにも同様の手順に従ってください。

## Avid Pro Tools

1. DAW ControlパネルでHUIプロトコルを選択し、Pro Toolsを起動します。
2. **Setup / MIDI / Input Devices**に行き、すべてのDAW Control MIDIポートを有効にします。
3. **Setup / Peripherals**ウィンドウを開き、**MIDI Controllers**タブにナビゲートします。
4. ミキサーにある8つのMIDIストリップのブロックごとにHUIデバイスを作成し、対応するMIDIポートに割り当てます。次の例では、16個のMIDIストリップが使用されているものとします。
  - a.1行目では、タイプとして**HUI**を選択し、Receive FromとSend Toポートとして**DAW Control MIDI 1**を選択します。
  - b.2行目でTypeを**HUI**、Receive FromとSend Toを**DAW Control MIDI 2**に設定します。
5. OK をクリックします。

## Steinberg Cubase

1. DAW Controlパネルで**Mackie Control**プロトコルを選択し、Cubaseを起動します。
2. **Devices / Device Setup**ウィンドウを開きます。
3. ミキサーにある8つのMIDIストリップのブロックごとにMackie Controlデバイスを作成し、対応するMIDIポートに割り当てます。左側のリストの一番上のデバイスが一番右のチャンネルを表していることに注意してください。次の例では、16個のMIDIストリップが使用されているものとします。
  - a. Add Deviceボタン (+) をクリックし、**Mackie Control**を選択します。
  - b. 入力および出力MIDIポートとして**DAW Control MIDI 2**を選択します。
  - c. Add Deviceボタン (+) をもう一度クリックし、**Mackie Control**を選択します。
  - d. 入力および出力MIDIポートとして**DAW Control MIDI 1**を選択します。
4. OK をクリックします。

## Cockos Reaper

1. DAW Control パネルで **Mackie Control** プロトコルを選択し、Reaperを起動します。
2. **Options / Preferences**ウィンドウを開き、左側のリストから**MIDI Devices**をクリックします。
3. メッセージの競合を避けるため、すべての**DAW Control MIDI**入力と出力ポートが無効になっていることを確認してください。必要に応じて、ポートを右クリックしてステータスを変更します。
4. 左側のリストから**Control Surfaces**を選択し、ミキサーにある8つのMIDIストリップのブロックごとにMackie Controlデバイスを作成し、それぞれを対応するMIDIポートに割り当てます。次の例では、16個のMIDIストリップが使用されているものとします。
  - a. Addボタンをクリックし、**Mackie Control Universal** サーフェイスモードと**DAW Control MIDI 1**を入力と出力ポートとして選択し、OKをクリックします。
  - b. Addボタンをもう一度クリックし、**Mackie Control Universal**サーフェスモード、**DAW Control MIDI 2**を入力と出力ポートとして選択し、サーフェスオフセットとして**8**を入力してOKをクリックします。
5. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

## Ableton Live

1. DAW Control パネルで**Mackie Control**プロトコルを選択し、Liveを起動します。
2. **Live / Preferences**ウィンドウを開き、**MIDI / Sync**タブに移動します。
3. Control Surface # 1ドロップダウンボックスで**MackieControl**を選択し、入力と出力ポートとして**DAW Control MIDI 1**を設定します。

4. ミキサーに存在する8つのMIDIストリップのブロックごとに、Mackie Control Extenderデバイスを作成し、それを対応するMIDIポートに割り当てます。  
次の例では、16個のMIDIストリップが使用されているものとします。
  - a. コントロールサーフィス #2ドロップダウンボックスでMackieControlXTを選択し、DAW Control MIDI 2を入力と出力ポートに設定します。
5. ウィンドウを閉じます。

## Apple Logic

1. DAW ControlパネルでMackie Controlプロトコルを選択し、Logicを起動します。
2. Logic Pro / Preferences / Control Surfaces / Setupウィンドウを開きます。
3. ミキサー上にある8つのMIDIストリップのブロックごとに、Mackie Controlデバイスを作成し、それを対応するMIDIポートに割り当てます。次の例では、16個のMIDIストリップが使用されているものとします。
  - a. New / Installをクリックし、下にスクロールして、Mackie Designs - Mackie Control - Logic Controlを選択し、Addをクリックします。
  - b. ウィンドウを閉じて、Mackie Control というラベルの画像をクリックします。
  - c. DAW Control MIDI 1を出力と入力ポートとして選択します。
  - d. New / Installをもう一度クリックし、別のMackie Designs - Mackie Control - Logic Controlを追加します。OKをクリックします。
  - e. ウィンドウを閉じ、Mackie Control # 2の画像をクリックします。
  - f. DAW Control MIDI 2を出力と入力ポートとして選択します。
4. セットアップウィンドウを閉じ、Window / Environmentに移動します。
5. 左上のMixerの横にあるドロップダウンメニューをクリックし、Clicks and Portsを選択します。
6. New / Monitorをクリックして、新しいMonitorオブジェクトを追加します。
7. すべてのDAW Control MIDI ポートとミキサーのMIDIポートを左のリストで確認します。対応する三角形をクリックし、ラインをモニターボックスにドラッグします。
8. プロジェクトをストアして設定を保存します。